

金属カンパニー

鉱物資源、鉄鋼・非鉄製品の日本と世界への安定供給を通じ、世界経済の発展に貢献していきます。

金属カンパニーのCSR

鉱物資源の開発と安定供給を通じたCSR推進

1. 鉱物資源の開発と安定供給
2. 地球にやさしいソーラー・リサイクル関連ビジネスへの取組

これらのミッションに取組みつつ、伊藤忠グループ全体でCSRを推進していきます。

CSR アクションプラン — 2012年度行動計画の要点 —

グローバル企業として国内のみならず海外グループ会社においても、環境マネジメントの推進と地球環境にやさしい事業への挑戦を行っていきます。またCSRの啓発と教育研修も引き続き実施していきます。

詳細はWebをご覧ください：<http://www.itochu.co.jp/ja/csr/activities/actionplan/#action03>

事業分野

金属・鉱物資源部門

鉄鉱石・アルミナの大型プロジェクト運営、ベースメタル・レアメタル等の金属資源開発と、鉄鉱石や非鉄金属製品のトレードという金属・鉱物資源のサプライチェーンを構成する部門です。



石炭・原子力・ソーラー部門

製鉄会社向け原料炭、電力会社向け発電燃料用の石炭・ウラン・バイオマス燃料を取扱っている他、温室効果ガス排出権取引や、太陽光・太陽熱発電事業を行っている部門です。



鉄鋼製品事業室

鉄鋼総合商社である伊藤忠丸紅鉄鋼(株)の窓口組織として、同社に関わる業務全般を管理・統括しています。同社国内外100社強の事業会社を通じた強固な鉄鋼流通ネットワークを活かし、当社とのシナジーを追求しています。



本業を通じた社会・環境への貢献

中国・大連長興島で複合型リサイクル事業を推進

中国・大連長興島臨港工業区において、鉄スクラップ・非鉄スクラップ・廃家電・廃プラスチック等を対象とした複合



完成予想図

型リサイクル事業「大連新緑再生資源加工有限公司」を、国内大手リサイクル企業・中国側パートナー等と共同で2010年に設立しました。長興島臨港工業区で唯一許可された再生資源加工工場として、世界最新鋭の設備と日本の優れた環境技術の導入を計画しています。中国初の大規模複合型リサイクル工場として、中国におけるモデル工場となることを目指しています。

スペイン アベンゴア・ソーラー社と太陽熱発電事業において提携

2010年、スペインの太陽熱発電事業大手のアベンゴア・ソーラー社と、アジア及びヨーロッパ市場における太陽熱発電開発に関する提携を行いました。また、共同でスペイン南部のエストレマデューラ州に、50MWの太陽熱発電所2基を建設し、発電事業を行うことでも合意しました。伊藤忠商事は権益の30%を取得します。2012年中に操業を開始し、電力はスペインのフィード・イン・タリフ制度※に基づき販売する予定です。これにより一般家庭の約52,000世帯分の電力需要をまかない、年間約63,000tのCO₂排出を削減する見込みです。



※再生可能エネルギー利用促進のための優遇価格電力買い取り制度

アベンゴア・ソーラー社と共同運営する太陽熱発電所2基